|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習編 | | | | |
| ４月 | １．行書の書き方を学ぼう | | | |
| 点画の省略 (教科書P34-35)  ◎漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して，読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)，(1)ウ］ | 毛筆  ３ | １ 楷書と行書で書かれた「調和」を比較して，点画が省略されている部分を見つけ，話し合う。  ２ ｢調」「和」に見られる点画の省略を確認し，同じく省略された部分をもつ他の漢字を硬筆でなぞる。  ３ ｢学習の窓」を見て，点画が省略される理由と，主な省略のしかたを確かめる。  ４ 点画の省略を意識して，毛筆で「調和」を書く。  ５ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「調和」｢秘話」「相談」を書く。 | 【知】漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して，読みやすく速く書いている。  【思】（毛筆で「調和」を書くなかで，行書の書き方＜点画の省略＞を確かめている。）  【態】進んで(①)行書の書き方（点画の省略）を理解し(③)，学習課題に沿って(②) ｢調和」を書こうとしている(④)。 |
| ５月 |
| 筆順の変化 (教科書P36-37)  ◎漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して，読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)，(1)ウ］ | 毛筆  ３ | １ 楷書と行書で書かれた「紅花」を比較して，筆順が変化している部分を見つけ，どのように変化するか話し合う。  ２ ｢紅」「花」に見られる筆順の変化を確認し，同じく変化した部分をもつ他の漢字を硬筆でなぞる。  ３ ｢学習の窓」を見て，筆順が変化する理由を確かめる。  ４ 筆順の変化を意識して，毛筆で「紅花」を書く。  ５ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「紅花」「若菜」「組織」を書く。 | 【知】漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して，読みやすく速く書いている。  【思】（毛筆で「紅花」を書くなかで，行書の書き方＜筆順の変化＞を確かめている。）  【態】進んで(①)行書の書き方（筆順の変化）を理解し(③)，学習課題に沿って(②) ｢紅花」を書こうとしている(④)。 |
| ６月 |
| 行書の練習２ (教科書P38-39)  ◎漢字の行書の書き方を理解して，読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)，(1)ウ］ | 硬筆  ２ | １ 点画の方向や形の変化，点画の連続・省略，筆順の変化などを含む行書の部分の書き方を覚え，同じ部分をもつ漢字を硬筆でなぞる。  ２ 設問②の空欄に当てはまる漢字を選び，点画の方向や形の変化，点画の連続・省略，筆順の変化に注意して硬筆で書き込む。  【学習活動の応用例】  ○ 教科書P79-93「常用漢字一覧表」から同じ部分をもつ漢字を探し，行書の特徴を意識して硬筆で書く。 | 【知】漢字の行書の書き方を理解して，読みやすく速く書いている。  【思】（硬筆で行書を覚えるなかで，行書の書き方を確かめている。）  【態】積極的に(①)行書の書き方を理解して(③)，今までの学習を生かしながら(②)①②の課題を書こうとしている(④)。 |
| ７月 |
| ９月 | ２．行書に仮名を交えて書こう | | | |
| 行書と仮名の調和  (教科書P40-41)  ◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して，読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ア・ウ(ア)，(1)ウ］ | 毛筆  ３ | １ ｢楷書とそれに調和する仮名」と「行書とそれに調和する仮名」に含まれる平仮名を比較して違いを見つけ，話し合う。  ２ ｢学習の窓」を見て，行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを確かめる。  ３ ｢夕映えの空」の点線を鉛筆でなぞり，筆脈を確かめる。  ４ 行書と仮名の調和を意識して，毛筆で「夕映えの空」を書く。 | 【知】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して，読みやすく速く書いている。  【思】（毛筆で「夕映えの空」を書くなかで，行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。）  【態】進んで(①)行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し(③)，学習課題に沿って(②) 「夕映えの空」を書こうとしている(④)。 |
| 10月 |
| 行書に調和する仮名  (教科書P42-43)  ◎行書に調和した仮名の書き方を理解して，読みやすく速く書くことができる。 [知技(3)ア・ウ(ア)，(1)ウ］ | 毛筆  ３ | １ 行書に調和する仮名の筆使いに慣れるために，教科書P42下段の運筆練習に取り組む。  ２ ｢学習の窓」を見て，行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解する。  ３ 行書に調和する仮名の特徴を意識して，小筆で「いろは歌」を書く。 | 【知】行書に調和した仮名の書き方を理解して，読みやすく速く書いている。  【思】（小筆で「いろは歌」を書くなかで，行書に調和した仮名の書き方を確かめている。）  【態】進んで(①)行書に調和した仮名の書き方を理解し(③)，学習課題に沿って(②) 「いろは歌」を書こうとしている(④)。 |
| 11月 |
| 11月 | 行書と仮名のまとめ  (教科書P44-45)  ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア・ウ(ア)，(1)ウ］ | 硬筆  ２ | １ ｢いろは歌」を鉛筆でなぞり，行書に調和する仮名の筆使いを確かめる。  ２ 行書の字形の整え方を確かめる。  ３ 行書と仮名の調和を意識し，これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴／文字の大きさと配列）と行書の字形の整え方に注意して，「平家物語」の抜粋を硬筆でなぞり，空欄に書き込む。 | 【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。  【思】（「いろは歌」「平家物語」を書くなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）  【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②) 「いろは歌」「平家物語」を書こうとしている(④)。 |
| 12月 | ３．楷書か行書かを選択して書こう | | | |
| 楷書と行書の使い分け  (教科書P46-47)  ◎目的や必要に応じて，楷書又は行書を選んで書くことができる。［知技(3)ウ(イ)，(1)ウ，Ａ(1)オ(2)イ］ | 硬･毛  ２ | １ 教科書P46①の場面では，それぞれ楷書と行書のどちらで書くことが適しているか，理由も合わせて話し合う。  ２ ｢学習の窓」を見て，目的や必要に応じて楷書と行書を使い分ける必要があることを確かめる。  ３ 教科書P47②のポスターの見出しに使いたい書体と筆記具を選び，理由も合わせて話し合う。  ４ 教科書P47②のポスターの見出しとして，３で選んだ文字を書き込む。  【学習活動の応用例】  ○ 教科書P70-73「情報を発信する」などを参考に，目的や必要に応じて適切な書体を選択し，学校行事と関連するポスターなどを書く。 | 【知】目的や必要に応じて，楷書または行書を選んで書いている。  【思】（ポスターの見出しを書く活動のなかで，書体と筆記具を選択する理由を考えている。）  【態】進んで(①)書体を選択して書く必要性を理解し(③)，学習課題に沿って(②)適切な書体と筆記具を選んで書こうとしている(④)。 |
| １月  ２月  ３月 | [コラム]季節のしおり２  (教科書P48-49)  ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ウ(ア)・(イ)］  ○季節にまつわる詩歌や言葉など，伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。［知技(3)ア，(1)ウ］ | 硬筆  ２ | １ 季節にまつわる詩歌や言葉を朗読して味わう。  ２ これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）を意識して，楷書とそれに調和する仮名，行書とそれに調和する仮名で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。 | 【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。  【思】（季節の言葉をなぞる活動のなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）  【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。 |